

## 戸田康之さん『キャンプ』

戸田です。サインネームではこのように表します。よろしく。

今日は、趣味のキャンプについてお話しします。

私はキャンプが大好きで、家族でよくキャンプに行っています。夏、キャンプ場で焚き火をしながら飲むビールは最高です。また、友人ファミリーと一緒にキャンプする時には、私は必ずビールサーバーを持って行きます。暑い日に飲むキンキンに冷えたビールは格別の美味しさで、友人にも喜ばれます。

キャンプをすると、ろう者と聴者では違うところがあります。昼間に聴者とう者のキャンプサイトを見比べてもその違いはわかりませんが、夜になるとはっきり分かるんです。

それは、電池やガス、ガソリンのものなどいろいろな種類はありますが、ライトに聴者とう者の違いがはっきり出ます。

聴者がキャンプをする時はライトの数が少なく、1~2個程度しかありません。ですが、ろう者の場合、それではお互いが全く見えず相手の手話も見えないので、ライトをたくさん持ち込んで点けるんです。私個人でも7~8個持っています。いわゆる『ろう“あるある”』ですね。他のろう者ファミリーもたいていそのくらいは持っています。そのたくさんあるライトを一気に点けるわけですから、ろう者のキャンプサイトは煌々としています。キャンプ中トイレに行き戻るときにも、他が薄暗いなかそこだけひとときわ明るいので、どこに戻ればいいのか一発で分かります。ろう者がキャンプをする時には必ずライトをたくさん持って行くんです。

焚き火をする時も、聴者の場合は焚き火の明るさだけでも大丈夫です。そのぼんやりした明かりの中で話ができます。しかしろう者の場合は、その明るさでは事足らず、相手が見えません。火を囲んだ自分たちの後ろに、私たちを取り囲むようにさらにライトを置いて中を照らし、その明るさの中で（手話での）おしゃべりを楽しむのです。

聴者とう者の違いがハッキリ分かって、面白いです。